

由良川水系河川改修事業促進期成同盟会総会

本日は、由良川水系河川改修事業促進期成同盟会総会に多くの会員の皆様ご出席の上、開催できますこと感謝申し上げます。また来賓として、県選出の国会議員の秘書さん、中部選出の県会議員の皆さん、藤本中部総合事務所県土整備局長さん等々ご出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、この由良川水系河川ですが、昭和62年10月の台風19号により大きな浸水被害を受け、昭和63年から抜本的な改修に向けた事業化を行っていただいたところでございます。

由良川本川におきましては、新瀬戸橋の手前まで改修をしていただきました。現在は、上流改修前に塩水遡上対策に取り組んでいただいています。

北条川におきましては、放水路整備に伴う地盤沈下等の問題も数値的には収束ということで、最終的な補償に進んでいるという状況です。町としましても、引き続き、寄り添った対応を行っていきたいと思っています。県におかれましては、しっかりと対応していただきますよう、よろしくお願いいたします。そして、上流部で大雨の時には、浸水してしまうところもあり、川幅を大きくする河川改修の計画が進められているところです。この件につきましても、よろしくお願いいたします。

昨今の頻発化・激甚化する災害に対しては、やはり、必要な予算の確保を図ることが重要だと思っています。国に対しては、「国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算について、危機管理投資による強い経済の実現の観点で踏まえ、通常予算とは別枠で確保するよう、また、建設資材の価格等の高騰などを踏まえた予算は、所要額を満額確保するようこの期成会を通して要望していきます。

由良川水系河川の抜本改修の早期完成を目指して、本日の総会の状況をつぶさに国会の先生等に伝えて、そして地域を水害から守り、地域住民がいつまでも安全で安心して暮らし続けることのできる社会を実現するため、頑張っていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本日の総会が、有意義な会となりますことを祈念いたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

令和8年5月18日

北栄町長 手嶋俊樹